

(自費) 光トポグラフィーによる抑うつ状態の鑑別診断補助検査についてのご案内

東京警察病院 (2021年6月作成)

長い間うつ状態でお困りの患者様はいないでしょうか

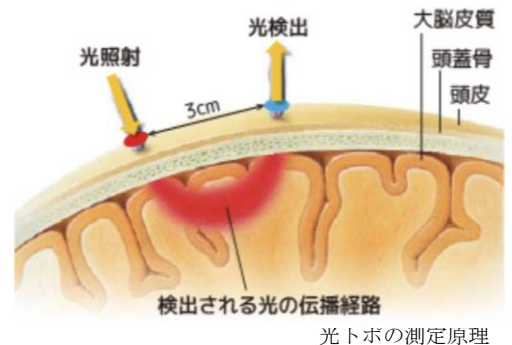
うつ病として治療していたけれど、実は躁うつ病(双極性障害)だった、統合失調症だったという可能性もあるかもしれません。診断が異なれば使用する薬も異なってきます。波形という目に見える形で診断の補助をしようというのがこの検査の特徴です。

光トポグラフィーとは

近赤外線分光鏡(近赤外線分光鏡;NIRS)という方法による非侵襲的な測定技術で、頭皮上から近赤外光を照射し脳活動に伴う大脳皮質の血中ヘモグロビン濃度変化を計測します。

高次脳機能研究に重要な技術として臨床応用もされており、当院脳神経外科では術前検査として言語優位半球同定に用いられてきました。

精神科領域では「うつ状態の鑑別診断」に役立つとして、2009年に先進医療として認められました。簡単なことばの課題に取り組んだときの脳血流変化を波形化し、そのパターンから抑うつ状態の原因となる病気を判定します。精度は6~8割と言われています。診察に検査結果を加えることで、より確かな診断に近づけることができます。



	NIRS 波形	賦活反応性
健常者		明瞭 (賦活に応じて)
うつ病		減衰 (初期以降)
双極性障害		遅延 (大きさは保存)
統合失調症		非効率 (タイミング)

NIRS でとらえた精神疾患の前頭葉賦活反応性
群馬大学大学院福田正人先生「うつ症状の光トポグラフィー検査」
より (医学書院発行 週刊医学界新聞第2867号掲載)

検査の実際

実際の検査にかかる時間は準備や説明を含めて30分程度です。測定用の帽子をかぶり、技師が装置を調整している間に説明ビデオを見ていただき、少し練習します。その後、実際の測定を15分ほど行って終了となります。

うつ状態が続いていて、一度検査を受けてみたいとご希望される方がいらっしゃったら、ぜひご紹介下さい。



検査料金

6,600円(税込)となります。(保険適応外)

検査結果と医師所見を紹介元の医療機関宛てに郵送致します。検査当日のお渡しは出来ません。

お問い合わせ先 詳細は検査予約申込書をご覧ください

予約受付

医療連携室(直通)

電話 03-5343-5760

FAX 03-5343-5761

予約受付時間 8:15~17:00

検査内容問い合わせ先

東京警察病院(代表電話) 電話 03-5343-5611

脳波・筋電図室(内線) 12627

受付時間 8:30~17:00